



千葉県写真家協会第107回通常総会が6月21日に行われました

Kanto Photo Association

梅雨の中休みで湿度も低く、良く晴れた上天気の2023年6月21日(水)に木更津のホテル三日月のバンケットホールで、千葉県写真家協会 第107回通常総会が行われました。会員数56人中21名出席、委任状17名で過半数に達して無事開催されました。

今年関東大会を控えておられる栃木県写真館協会の会長の小林氏をお迎えして、栃木県写真館協会の副会長である伊東氏が奇しくもセミナーの講師をしていただけるという、今年の関東大会への布石となるべきお膳立ては整った会となり、肅々と議案が承認されました。総会が無事に終わったあとは、メーカー、商社さまの紹介があったのち、文化部から今年の写真コンテストの表彰式がおこなわれ、



たくさんの応募作品の中から選ばれて賞をお取りになった方へ惜しみない拍手がおくられていました。作品は会場の後方に展示され、参加者が自由に見て、勉強できるようになっていました。こうした環境が提供される

のはやはり素晴らしいことです。写真館は商圈がちがうと、惜しみなくなんでも教えてくれるという希少な業種でもあります。これは本当に他にはない特徴です。

また、今回は会場設定もすばらしく、海に向かってたっているホテルのひろいバンケットルームで、調光設備も快適で、うっかり手配を忘れたプロジェクタもすぐに貸していただけたり、とたいへん快適な総会でした。宿泊の方には懇親会後にもう1時間講師の特別レクチャーもあり、といういたれりつくせりの盛会でした。



講師 伊東一平氏による
「末端写真館の挑戦」

学校写真からつながったもの

写真館の2代目として、学校写真をメインにしながら、アグレッシブに次々と世界を広げて、プレミアムスナップと呼ばれる報道写真のような、またはコマーシャル写真のようなコトそのもの、ヒトそのものをみごとに切り取って芸術にまで高めた氏の軌跡を思い切り語っていただきました。

学校写真という、ひと雫の水滴が落ちた波紋を究極まで広げて、プロフィール写真、建築写真、ポートレートそのすべてに果敢に挑み写真の技術だけでなく、その人を惹きつける人柄の魅力もあいまって、どんどん広がる。どんどん深まる。そして皆に愛される。

どれだけ魅力的なひとなのでしょう。

ひとつのことから真摯にむかうと、Pマークの取得や、NPO法人よみがえれ卒業アルバム活動や、それもこれも伊東一平氏の人生には必然の出会いだったのでしょうか。

熱く語ってくださったこのセミナーは、他とは違うこと、他の追随を許さず、駆け抜けること。そしてとどまることがないこと。進むべき勇気を鼓舞される講演で、学校写真をするスタジオにも、しないスタジオにも強烈な起爆剤となるものでした。